

平成 20 年 9 月 期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 8 月 15 日

上場会社名 株式会社ウェッジホールディングス

上場取引所 大証ヘラクレス

コード番号 2388

URL <http://www.wedge-hd.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田代 宗雄

四元 衆

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名)

TEL (03)5217-0723

1. 平成 20 年 9 月 期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 10 月 1 日 ~ 平成 20 年 6 月 30 日)
(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年9月期第3四半期	1,524 △19.7	11 —	66 —	54 —
19年9月期第3四半期	1,898 △20.7	△20 —	△23 —	△9 —
19年9月期	2,593 △20.9	△265 —	△273 —	△525 —

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年9月期第3四半期	789 64	— —
19年9月期第3四半期	△220 64	— —
19年9月期	△12,744 71	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年9月期第3四半期	2,762	1,394	50.5	20,331 61
19年9月期第3四半期	2,588	1,398	51.9	32,787 93
19年9月期	2,834	1,435	50.6	20,928 15

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年9月期第3四半期	6	△1,330	△150	308
19年9月期第3四半期	△204	△108	△71	1,036
19年9月期	△183	△155	716	1,782

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第3四半期末
	円 銭
19年9月期第3四半期	— —
20年9月期第3四半期	— —

3. 平成 20 年 9 月 期の連結業績予想 (平成 19 年 10 月 1 日 ~ 平成 20 年 9 月 30 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	2,800 8.0	139 —	175 —	150 —	2,187 13

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 四半期連結財務諸表の作成基準 : 中間連結財務諸表作成基準
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 (4) 会計監査人の関与 : 無

5. 個別業績の概要 (平成19年10月1日 ~ 平成20年6月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月期第3四半期	685	50.0	78	168.5	87	63.4	37	—
19年9月期第3四半期	457	238.1	29	91.4	53	240.1	△6	—
19年9月期	672	265.2	5	△74.0	25	82.0	△611	—

	1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭
20年9月期第3四半期	551	03
19年9月期第3四半期	△170	12
19年9月期	△14,830	31

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年9月期第3四半期	2,270	1,246	54.9	18,174 02
19年9月期第3四半期	2,141	1,205	56.3	29,405 47
19年9月期	2,319	1,208	52.1	17,622 72

6. 平成20年9月期の個別業績予想 (平成19年10月1日 ~ 平成20年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	1,058 57.3	25 398.3	18 △29.5	15 —	218 71

※ 業績予想の適切な利用に関する説明, その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当四半期連結会計期間におけるわが国経済は、円高・株安の進行や、原油価格・原材料価格の高騰、サブプライムローン問題に伴う金融市場の混乱の長期化等、景況感が悪化している状況です。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、出版コンテンツにおいては紙媒体からデジタル媒体への移行、音楽コンテンツにおいてはCD・DVD等の媒体からインターネットによるダウンロードへの移行、映像コンテンツにおいては放送からネット配信への移行、と従前の環境から大きく変貌を遂げる過渡期となっておりますが、その根幹であるコンテンツ自体には変わりはなく、コンテンツを中心とした総合エンタテインメント集団である当社グループは変化をチャンスと捉え、今後のビジネス拡大を推進してまいります。

当社は、平成 19 年 9 月 28 日には A. P. F. Holdings Co., Ltd. のグループ企業である明日香野ホールディングス株式会社を割当先とする第三者割当増資を実施いたしました。A. P. F. Holdings Co., Ltd. は国内外において多様な業種での企業価値向上案件に関する幅広い実績と経験を有しております。当社グループでは中長期的なパートナーシップを構築し、平成 19 年 12 月 21 日に開催された株主総会において役員を受入を決議し、現在新たな経営体制の下で事業の再構築と収益性改善・経営基盤の強化に取り組んでおります。

当四半期連結会計期間においては、売上高は 15 億 24 百万円（前年同四半期比 19.7%減）と前年同四半期と比べて減少となりました。その要因としては、コンテンツ事業においては概ね予定どおり推移し、投資事業（その他事業）においても順調に収益を計上できましたが、物販事業においては大幅な売上高の減少となったことによります。物販事業の売上高が減少した要因は、当期の事業方針として採算性の向上を主眼においた結果、仕入及び在庫を適性規模にまで圧縮したこと、並びに、中長期的な採算性確保と固定費削減を図るため店舗の移転を行った結果、旧店舗の閉店から新店舗の開店までの間に営業できなかった期間が約 1.5 ヶ月発生し販売機会が減少したことによります。

一方、固定費等の削減に伴う販売費及び一般管理費の減少や、コンテンツ事業におけるカードゲームや映画製作の収益性向上、昨年より開始した投資事業の活動の結果、当四半期より持分法を適用することになったグループリース社の利益が貢献し、営業利益 11 百万円（前年同四半期は 20 百万円の営業損失）、経常利益 66 百万円（同 23 百万円の経常損失）、四半期純利益 54 百万円（同 9 百万円の四半期純損失）と増益となりました。

なお、上記金額に消費税等は含まれておりません。

事業の種類別売上高等の状況は次のとおりであります。

①コンテンツ事業

コンテンツ事業におきましては、当社の「ゲームクリエイティブ事業部」「ブレインナビ事業部」「ライセンス開発事業部」、株式会社エースデュースエンタテインメント、株式会社エースデュースコード及び株式会社ラディクスモバニメーションが主に営んでおります。

「ゲームクリエイティブ事業部」は、主にカードゲームのプロデュース、ゲーム関連の雑誌・書籍コンテンツの編集・企画・デザインを行っております。

「ブレインナビ事業部」は、雑誌・書籍コンテンツの編集・企画・デザインを行っております。主に従来から得意としているゲーム・アニメ・漫画等の関連誌ジャンルへの積極的な営業活動を行いました。

「ライセンス開発事業部」は、主にアニメコンテンツの企画プロデュース、グループ会社全体のコンテンツに関するライセンス管理等を行っております。

株式会社エースデュースエンタテインメントにおいては、「ALLDAYS 二丁目の朝日」、「常石造船所」等DVDのセル品・レンタル品の販売及び一般の消費者向けのインターネット通信販売を行いました。又、「Girls Box ラバーズ★ハイ」、「少林老女」、「ロックンロールダイエット」等公開作品の製作委員会・共同事業への出資を行いました。さらに、独立UHF局、地方局及びBSデジタルからなる9局のアニメーションネットワークを幹事会社として運営し、株式会社電通との業務契約のもとソニー株式会社、本田技研工業株式会社、株式会社東芝等の番組、雑誌、広告等のプロデュースを行いました。

株式会社エースデュースコードは、ガゼット「紅蓮」、アリスナイン「ミラーボール」のPV制作及びCM・CM音楽の制作や、自社所属タレント「長澤奈央」「入江紗綾」のマネジメント、DVD・写真集の制作を行いました。

株式会社ラディクスモバニメーションは、アニメ「attacked kuma3（アタックド クマサン）」の制作、自社所属声優のインターネットラジオ・イベント出演等のマネジメントを行いました。

これらの諸活動の結果、コンテンツ事業の売上高は9億73百万円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益は1億1百万円（前年同期は22百万円の営業損失）となりました。コンテンツ事業においては、売上高は微増にとどまりましたが、コンテンツ投資のリスク管理強化による回収率の向上や、固定費等の削減に伴う販売費及び一般管理費の減少が奏功し、営業利益は大幅な増益となりました。

②物販事業

物販事業においては、当社の「たのみこむ事業部」及び株式会社エンジンが主に営んでおります。

「たのみこむ事業部」では、消費者の「満たされないニーズ」と企業の「埋もれたシーズ」を結びつけ、共創型の商品開発を実現しております。

株式会社エンジンは、海外玩具商品の輸入販売・販売代理店業務（Blister Direct）、インターネット通販（キャラネット）及び店舗（BLISTER）による販売を行っております。「Blister Direct」では、海外発のキャラクター商品を提供する国内正規代理店業務のほか、海外メーカーとのタイアップによるオリジナル商品の開発、その他メーカー商品の卸販売を行っております。ウェブサイト「キャラネット」では、日本製の玩具を中心に、そのキャラクターごとに豊富な商品を揃えて消費者向けの通信販売を行っております。「BLISTER」では、国内外の映画、音楽、スポーツ、ゲーム、コミックス等のキャラクター商品を取り揃え、店頭販売しております。

これらの諸活動の結果、物販事業の売上高は5億35百万円（前年同四半期比45.6%減）、営業損失98百万円（前年同期は4百万円の営業損失）となりました。物販事業においては前連結会計年度までの大量の商品仕入による売上拡大路線から転換し、仕入及び在庫を適正規模にまで圧縮して採算性の向上を主眼においた運営を行いました。さらに、中長期的な採算性確保と固定費削減を図るため、店舗の移転を行った結果、旧店舗の閉店から新店舗の開店までの間に営業できなかった期間が約1.5ヶ月発生し、販売機会が減少しました。又、移転費用等の発生により販売費及び一般管理費が一時的に増加したことから営業損失が拡大いたしました。

③投資事業（その他事業）

投資事業（その他事業）は主に株式会社エンジンが営む投資事業及び当社の出資している投資事業組合の運営管理等が含まれております。株式会社エンジンにおいては、株式の取得や短期投融資案件への投資を主に行っております。当四半期連結会計期間の売上高は15百万円（前年同四半期比62.5%増）、営業利益は7百万円（前年同四半期比35.9%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

当四半期連結会計期間末における総資産は前年同四半期末と比べて1億74百万円増加し、27億62百万円となりました。

流動資産においては、現金及び預金の減少5億84百万円、たな卸資産の減少2億1百万円、短期貸付金の増加6億50百万円等により、1億39百万円減少し、19億36百万円となりました。現金及び預金の減少と短期貸付金の増加につきましては、株式会社エンジンが営む投資事業の一環として、同社の短期投融資案件に提供したことによります。同社の投資事業においては当四半期中に配当金の受取額が54百万円に上る等投資実施済み案件の順調な回収が進んでおりますが、新たな投融資案件への再投資を実施していることから資金需要が多く発生しております。たな卸資産の減少につきましては、主に前連結会計年度中に仕掛りであったコンテンツが完成したこと及び物販事業において前連結会計年度末に商品評価減を実施したことによります。固定資産においては、関係会社株式（グループリース社）の増加3億77百万円等により、3億13百万円増加し、8億25百万円となりました。

流動負債においては、短期借入金の減少2億円、一年内償還予定社債の増加60百万円、前受金の増加97百万円等により、9百万円増加し、5億74百万円となりました。前受金の増加につきましては、当期から契約管理を強化した結果、新規で受注したコンテンツ制作費に関して前受金の受取比率が向上したことによります。又、短期借入金の減少と一年内償還予定社債の増加につきましては、社債発行により短期借入れから長期借入れへと移行したことによります。固定負債は、社債の発行等により1億68百万円増加し、7億93百万円となりました。

純資産においては、前期に実施した第三者割当増資により、資本金が3億3百万円増加、資本剰余金

は増資による増加と欠損填補による取り崩しで1億98百万円の減少、前期計上の当期純損失、欠損填補による資本剰余金からの振替、当期計上の四半期純利益により、利益剰余金が40百万円増加、為替換算調整勘定が95百万円増加、少数株主持分が54百万円減少したこと等により、前年同四半期末と比べて3百万円減少して13億94百万円となりました。

②当四半期連結会計期間のキャッシュ・フローの状況

当四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の四半期末残高は3億8百万円となりました。

当四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、6百万円の収入となりました。その主な内訳は、売上債権の減少額71百万円、たな卸資産の増加額2億17百万円、仕入債務の増加額93百万円、配当金の受取額54百万円、税金等調整前四半期純利益51百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、13億30百万円の支出となりました。その主な内訳は、貸付けによる支出6億50百万円、関係会社株式の取得による支出4億90百万円、定期預金の預入による支出6億50百万円、定期預金の払戻による収入5億10百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億50百万円の支出となりました。その主な内訳は、短期借入れによる収入4億40百万円、短期借入金返済による支出5億40百万円、社債の償還による支出50百万円等であります。

3. 業績予想に関する定性的情報

現時点では通期の業績予想に対して進捗率が遅れているものの、カードゲームの売上高による増収・増益を見込んでいることのほか、上半期に受注したアニメーション制作案件等の売上高計上を今後見込んでいること、又上半期に出資したコンテンツ投資の回収や、新たに開始した出版事業の売上高も今後見込まれること、等から通期の業績予想は概ね達成できるものと考えております。

又、上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

4. その他

該当事項はありません。

5. 第3四半期連結財務諸表等

(1) 第3四半期連結貸借対照表

(単位：千円，%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年9月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年9月期 第3四半期末)		増 減		(参考) 前期末 (平成19年9月期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)								
I 流動資産								
1. 現金及び預金	1,042,107		458,003				1,792,099	
2. 売掛金	305,686		353,317				334,771	
3. たな卸資産	604,587		402,793				187,227	
4. 短期貸付金	—		650,000				—	
5. 前渡金	91,341		20,339				62,842	
6. 繰延税金資産	15,031		5,000				—	
7. 未収消費税等	126		10,676				241	
8. その他	32,867		42,860				42,846	
貸倒引当金	△15,530		△6,220				△17,420	
流動資産合計	2,076,218	80.2	1,936,770	70.1	△139,447	△6.7	2,402,609	84.8
II 固定資産								
1. 有形固定資産								
(1) 建物	29,663		16,846				6,158	
(2) 車両運搬具	6,673		6,593				5,915	
(3) 工具器具備品	10,411		20,543				7,001	
有形固定資産合計	46,748	1.8	43,984	1.6	△2,763	△5.9	19,075	0.6
2. 無形固定資産								
(1) のれん	259,155		231,494				247,273	
(2) その他	8,248		6,436				6,911	
無形固定資産合計	267,404	10.3	237,930	8.6	△29,473	△11.0	254,185	9.0
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	27,800		0				12,800	
(2) 関係会社株式	—		377,139				—	
(3) 敷金保証金	168,633		160,147				139,914	
(4) その他	1,723		25,388				5,957	
(5) 貸倒引当金	—		△18,594				—	
投資その他の資産合計	198,156	7.7	544,081	19.7	345,925	174.6	158,672	5.6
固定資産合計	512,309	19.8	825,997	29.9	313,687	61.2	431,933	15.2
資産合計	2,588,527	100.0	2,762,768	100.0	174,240	6.7	2,834,542	100.0

(単位：千円，%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年9月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年9月期 第3四半期末)		増 減		(参考) 前期末 (平成19年9月期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(負債の部)								
I 流動負債								
1. 買掛金	181,401		254,573				203,805	
2. 短期借入金	200,000		—				100,000	
3. 一年内償還予定社債	40,000		100,000				100,000	
4. 未払金	52,693		27,577				39,898	
5. 未払法人税等	23,748		4,102				11,733	
6. 未払消費税等	9,120		8,595				10,775	
7. 前受金	13,512		110,733				—	
8. 預り金	—		49,089				48,923	
9. ポイント引当金	10,673		9,788				9,788	
10. 賞与引当金	1,950		—				—	
11. その他	31,912		10,252				29,790	
流動負債合計	565,012	21.8	574,713	20.8	9,701	1.7	554,714	19.6
II 固定負債								
1. 社債	160,000		330,000				380,000	
2. 新株予約権付社債	460,000		460,000				460,000	
3. その他	5,375		3,774				4,512	
固定負債合計	625,375	24.2	793,774	28.7	168,398	26.9	844,512	29.8
負債合計	1,190,387	46.0	1,368,487	49.5	178,099	15.0	1,399,227	49.4
(純資産の部)								
I 株主資本								
1. 資本金	465,375	18.0	769,140	27.8	303,765	65.3	769,140	27.1
2. 資本剰余金	2,149,956	83.0	1,950,964	70.6	△198,992	△9.3	2,453,722	86.6
3. 利益剰余金	△1,242,878	△48.0	△1,202,256	△43.5	40,621	3.3	△1,759,169	△62.1
4. 自己株式	△28,378	△1.1	△28,468	△1.0	△89	△0.3	△28,378	△1.0
株主資本合計	1,344,075	51.9	1,489,380	53.9	145,305	10.8	1,435,315	50.6
II 評価・換算差額等								
1. 為替換算調整勘定	—	—	△95,099	△3.4	△95,099	—	—	—
評価・換算差額等合計	—	—	△95,099	△3.4	△95,099	—	—	—
III 少数株主持分	54,064	2.1	—	—	△54,064	△100.0	—	—
純資産合計	1,398,140	54.0	1,394,280	50.5	3,859	0.3	1,435,315	50.6
負債及び純資産合計	2,588,527	100.0	2,762,768	100.0	174,240	6.7	2,834,542	100.0

(2) 第3四半期連結損益計算書

(単位：千円，%)

科 目	前年同四半期 (平成19年9月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)		増 減		(参考) 前期 (平成19年9月期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売上高	1,898,640	100.0	1,524,214	100.0	△374,425	△19.7	2,593,505	100.0
II 売上原価	1,327,757	69.9	989,694	64.9	△338,062	△25.5	2,093,932	80.7
売上総利益	570,882	30.1	534,519	35.1	△36,363	△6.4	499,572	19.3
III 販売費及び一般管理費	591,724	31.2	522,967	34.3	△68,756	△11.6	764,920	29.5
営業利益又は営業 損失(△)	△20,841	△1.1	11,552	0.8	32,393	—	△265,347	△10.2
IV 営業外収益								
1. 受取利息	—		2,625				1,692	
2. 保険解約返戻金	5,119		10,670				5,119	
3. 株式オプション売 却益	—		9,000				—	
4. 持分法による投資 利益	—		36,864				—	
5. その他	2,743		13,105				4,316	
営業外収益合計	7,862	0.4	72,265	4.7	64,403	819.1	11,128	0.4
V 営業外費用								
1. 支払利息	5,357		8,556				8,702	
2. 為替差損	2,034		155				—	
3. 株式交付費	—		280				2,759	
4. 社債発行費	3,017		—				6,541	
5. 利子・配当源泉税	—		3,770				—	
6. その他	165		4,349				1,568	
営業外費用合計	10,574	0.5	17,111	1.1	6,536	61.8	19,572	0.8
経常利益又は経常 損失(△)	△23,554	△1.2	66,706	4.4	90,260	—	△273,791	△10.6

(単位：千円，%)

科 目	前年同四半期 (平成19年9月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)		増 減		(参考) 前期 (平成19年9月期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
VI 特別利益								
1. 固定資産売却益	40		490				40	
2. 有価証券売却益	—		13,499				—	
3. 貸倒引当金戻入益	9,863		—				7,799	
4. 関係会社株式売却益	45,405		—				45,405	
特別利益合計	55,308	2.9	13,990	0.9	△41,317	△74.7	53,245	2.1
VII 特別損失								
1. 固定資産除却損	3,077		142				3,077	
2. 固定資産売却損	30		—				30	
3. 減損損失	—		12,436				36,674	
4. 事業所移転費用	2,588		12,192				2,588	
5. たな卸資産評価損	59,476		1,975				253,532	
6. 有価証券評価損	5,992		1,966				20,992	
7. その他	—		—				13,652	
特別損失合計	71,165	3.8	28,713	1.9	△42,451	△59.7	330,548	12.8
税金等調整前四半 期純利益又は四半 期(当期)純損失 (△)	△39,410	△2.1	51,983	3.4	91,394	—	△551,094	△21.3
法人税、住民税及 び事業税	16,211	0.8	2,828	0.1	△13,382	△82.6	5,787	0.2
法人税等調整額	△8,044	△0.4	△5,000	△0.3	3,044	37.9	6,986	0.3
少数株主損失	38,532	2.0	—	—	△38,532	△100.0	38,532	1.5
四半期純利益又は 四半期(当期)純 損失(△)	△9,045	△0.5	54,155	3.6	63,200	—	△525,337	△20.3

(3) 第3四半期連結株主資本等変動計算書

前年同四半期 (自 平成18年10月1日 至 平成19年6月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年9月30日 残高 (千円)	465,375	2,149,956	△1,233,832	△28,352	1,353,146
当四半期連結会計期間中の変動額					
四半期純損失			△9,045		△9,045
自己株式の取得				△25	△25
株主資本以外の項目の当四半期連結会計期間中の変動額 (純額)					
当四半期連結会計期間中の変動額合計 (千円)	—	—	△9,045	△25	△9,070
平成19年6月30日 残高 (千円)	465,375	2,149,956	△1,242,878	△28,378	1,344,075

	少数株主持分	純資産合計
平成18年9月30日 残高 (千円)	92,596	1,445,742
当四半期連結会計期間中の変動額		
四半期純利益		△9,045
自己株式の取得		△25
株主資本以外の項目の当四半期連結会計期間中の変動額 (純額)	△38,532	△38,532
当四半期連結会計期間中の変動額合計 (千円)	△38,532	△47,602
平成19年6月30日 残高 (千円)	54,064	1,398,140

当四半期 (自 平成19年10月1日 至 平成20年6月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年9月30日 残高 (千円)	769,140	2,453,722	△1,759,169	△28,378	1,435,315
当四半期連結会計期間中の変動額					
欠損填補による資本準備金の取崩		△502,757	502,757		—
四半期純利益			54,155		54,155
自己株式の取得				△89	△89
株主資本以外の項目の当四半期連結会計期間中の変動額 (純額)					
当四半期連結会計期間中の変動額合計 (千円)	—	△502,757	556,913	△89	54,065
平成20年6月30日 残高 (千円)	769,140	1,950,964	△1,202,256	△28,468	1,489,380

	評価・換算差額等		純資産合計
	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
平成19年9月30日 残高 (千円)	—	—	1,435,315
当四半期連結会計期間中の変動額			
欠損填補による資本準備金の取崩			—
四半期純利益			66,655
自己株式の取得			△89
株主資本以外の項目の当四半期連結会計期間中の変動額 (純額)	△95,099	△95,099	△95,099
当四半期連結会計期間中の変動額合計 (千円)	△95,099	△95,099	△28,534
平成20年6月30日 残高 (千円)	△95,099	△95,099	1,394,280

前連結会計年度の要約連結株主資本等変動計算書 (自 平成18年10月1日 至 平成19年9月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年9月30日 残高 (千円)	465,375	2,149,956	△1,233,832	△28,352	1,353,146
連結会計年度中の変動額					
新株の発行	303,765	303,765			607,531
当期純損失			△525,337		△525,337
自己株式の取得				△25	△25
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額 (純額)					
連結会計年度中の変動額合計 (千円)	303,765	303,765	△525,337	△25	82,169
平成19年9月30日 残高 (千円)	769,140	2,453,722	△1,759,169	△28,378	1,435,315

	少数株主持分	純資産合計
平成18年9月30日 残高 (千円)	92,596	1,445,742
連結会計年度中の変動額		
新株の発行		607,531
当期純損失		△525,337
自己株式の取得		△25
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額 (純額)	△92,596	△92,596
連結会計年度中の変動額合計 (千円)	△92,596	△10,427
平成19年9月30日 残高 (千円)	—	1,435,315

(4) 第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 (平成19年9月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)	増 減	(参考) 前期 (平成19年9月期)
区 分	金 額	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	△39,410	51,983		△551,094
減価償却費	11,658	18,840		15,997
のれん償却	14,639	12,922		19,134
減損損失	—	12,436		36,674
たな卸資産評価損	—	1,975		—
固定資産除却損	2,952	142		3,077
投資有価証券評価損	5,992	1,966		20,992
事業所移転費用	—	12,192		—
関係会社株式売却益	△45,405	—		△45,405
持分法による投資利益	—	△36,864		—
有価証券売却益	—	△13,499		—
固定資産売却益	—	△490		—
保険解約返戻金	—	△10,670		—
株式オプション売却益	—	△9,000		—
受取利息	—	△2,625		—
支払利息	—	8,556		—
貸倒引当金の増加額(△減少額)	△9,863	7,394		△7,973
ポイント引当金の増加額	3,643	—		2,758
賞与引当金の増加額	1,950	—		—
売上債権の減少額	216,323	71,338		187,238
たな卸資産の減少額(△増加額)	△53,567	△217,542		363,792
前渡金の増加額	△41,282	—		△12,783
前払費用の増加額	—	△4,543		—
未収消費税等の減少額(△増加額)	15,494	△10,434		15,379
未収金の減少額(△増加額)	△8,269	9,474		—
仕入債務の増加額(△減少額)	△273,149	93,271		△250,745
未払金の減少額	△4,276	△9,745		△17,070
前受金の増加額	33,073	—		40,410
未払消費税等の増加額(△減少額)	2,861	△2,179		4,516
預り金の増加額	—	—		37,233
その他	33,679	△26,311		31,080
小計	△132,955	△41,413	91,541	△106,787
利息の受取額	602	1,792		1,692
配当金の受取額	—	54,624		—
利息の支払額	△5,357	△5,822		△8,123
保険解約返戻金	—	10,670		—
株式オプション売却による収入	—	9,000		—
事業所移転に伴う支出	—	△11,247		—
法人税等の支払額	△67,116	△11,275		△70,460
営業活動によるキャッシュ・フロー	△204,826	6,328	211,155	△183,678

(単位：千円)

	前年同四半期 (平成19年9月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)	増 減	(参考) 前期 (平成19年9月期)
区 分	金 額	金 額	金 額	金 額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の払戻による収入	4,858	510,502		4,858
定期預金の預入による支出	△1,951	△650,900		△3,051
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	△11,000	—		2,259
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△61,478	—		△61,478
連結の範囲の変更を伴う子会社等の解散による支出	—	—		△54,064
関係会社株式の取得による支出	—	△490,000		—
有価証券の売却による収入	—	13,500		—
貸付けによる支出	—	△650,000		—
有形固定資産の取得による支出	△2,616	△37,630		△2,737
有形固定資産の除売却による収入	85	1,023		85
無形固定資産の取得による支出	△2,753	△5,951		△7,256
長期前払費用の取得による支出	—	△6,754		—
敷金保証金の差入れによる支出	△44,533	△25,355		△44,533
敷金保証金の回収による収入	10,504	—		10,504
出資金の返還による収入	—	10,833		—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,886	△1,330,732	△1,221,846	△155,414
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額	△271,000	—		△371,000
短期借入れによる収入	—	440,000		—
短期借入金の返済による支出	—	△540,000		—
社債の発行による収入	200,000	—		500,000
社債の償還による支出	—	△50,000		△20,000
株式の発行による収入	—	—		607,531
自己株式の取得による支出	△25	△89		△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,025	△150,089	△79,064	716,506
IV 現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)	△384,739	△1,474,494	△1,089,755	377,412
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,405,084	1,782,497	377,412	1,405,084
VI 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	15,960	—	△15,960	—
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,036,305	308,003	△728,302	1,782,497

(継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況)

<p>前四半期 (平成19年9月期 第3四半期)</p>	<p>当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)</p>	<p>(参考) 前期 (平成19年9月期)</p>
<p>当社グループは、前連結会計年度まで2期連続して当期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローにおいても2期連続してマイナスとなっております。当四半期連結会計期間においては、四半期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローにおいても、マイナス204百万円と引続きマイマスとなっております。継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況に該当します。</p> <p>当社グループは、前期から当期にかけて多額のコンテンツ先行投資を実施いたしました。このコンテンツ投資の回収を確実にを行うために、当社内にライセンス開発事業部を発足させ、ライセンス収益を確保するよう、社内管理体制を整備充実いたしました。</p> <p>又、カードゲームの企画プロデュースを積極的に推進した結果、新規案件の受注及び既発売商品についての新たなライセンス契約締結によるロイヤリティ収入を獲得し、収益拡大を図っております。</p> <p>これらの先行投資の回収を確実にを行うこと及びカードゲームの積極的な受注活動を行うことにより、売上増加、営業利益を増加させ、収益力の向上とキャッシュ・フローの改善を図っております。</p> <p>四半期連結財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。</p>	<p>当社グループは、前連結会計年度まで3期連続して当期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローにおいても3期連続してマイナスとなっております。当四半期連結会計期間においては、四半期純利益を計上し、営業キャッシュ・フローにおいてもプラスとなりましたが、累積損失を解消するまでには至らず、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況に該当します。</p> <p>当社グループは、多額のコンテンツ先行投資を実施しておりますが、リスク管理強化による回収率を向上させるように社内管理体制を整備充実いたしました。</p> <p>又、カードゲームの企画プロデュースを積極的に推進した結果、新規案件の受注及び既発売商品についての新たなライセンス契約締結によるロイヤリティ収入を獲得し、収益拡大を図っております。</p> <p>さらには株式会社エンジンが新たに投資事業を開始しており、当四半期においては持分法による投資利益が大きく貢献するとともに、受取配当金によるキャッシュ・フローの改善も図っております。</p> <p>これらのコンテンツ先行投資の回収率の向上、カードゲームの積極的な受注活動、投資事業の推進により、売上高・営業利益を増加させ、収益力の向上とキャッシュ・フローの改善を図っております。</p> <p>四半期連結財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。</p>	<p>当社グループは、前連結会計年度まで3期連続して当期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローにおいても3期連続してマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況に該当します。</p> <p>当社グループは、前期から当期にかけて多額のコンテンツ先行投資を実施いたしました。このコンテンツ投資の回収を確実にを行うために、当社内にライセンス開発事業部を発足させ、ライセンス収益を確保するよう、社内管理体制を整備充実いたしました。</p> <p>又、カードゲームの企画プロデュースを積極的に推進した結果、新規案件の受注及び既発売商品についての新たなライセンス契約締結によるロイヤリティ収入を獲得し、収益拡大を図っております。</p> <p>これらの先行投資の回収を確実にを行うこと及びカードゲームの積極的な受注活動を行うことにより、売上増加、営業利益を増加させ、収益力の向上とキャッシュ・フローの改善を図っております。</p> <p>又、平成19年9月28日に6億7百万円の第三者割当を実施したことにより、当面の資金繰りは問題なく、割当先のA.P.F.Holdings Co., Ltdグループとも中長期的なパートナーシップを構築し、従前のコンテンツ事業をさらに発展させるとともに、新たに投資事業を含んだ戦略的取り組みを推進していく予定です。</p> <p>連結財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を連結財務諸表には反映しておりません。</p>

（セグメント情報）

1. 事業の種類別セグメント情報
前四半期（平成19年9月期第3四半期）

	コンテンツ事業(千円)	物販事業(千円)	その他事業(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	904,747	984,603	9,288	1,898,640	—	1,898,640
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	535	730	10	1,276	(1,276)	—
計	905,283	985,334	9,298	1,899,916	(1,276)	1,898,640
営業費用	927,606	989,957	3,494	1,921,058	(1,576)	1,919,481
営業利益又は営業損失(△)	△22,323	△4,622	5,804	△21,141	300	△20,841

- (注) 1. 事業区分の方法
事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。
2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
コンテンツ事業	映像、音楽、アニメ、雑誌、書籍、カードゲーム、ウェブ等のコンテンツの企画・制作・編集・デザイン・卸売・小売・配信及び関連するライツ事業
物販事業	玩具、雑誌、関連商品の卸売・小売、マーチャンダイジング化
その他事業	上記に当てはまらない事業

3. 事業区分の再編
事業区分につきましては、前連結会計年度において「コンテンツ制作事業」「コンテンツ流通事業」「メディア事業」「その他事業」の4つの区分にしておりましたが、自社企画を中心としたコンテンツをゼロから生み出せる企業グループとして、コンテンツの製販一体となった企画・開発を行う体制への事業再編を実施したことに伴い、「コンテンツ事業」「物販事業」「その他事業」の3つに再編いたしました。

当四半期（平成20年9月期第3四半期）

	コンテンツ事業(千円)	物販事業(千円)	投資事業(その他事業)(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	973,937	535,186	15,090	1,524,214	—	1,524,214
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,150	345	—	1,497	(1,495)	—
計	975,087	535,531	15,090	1,525,710	(1,495)	1,524,214
営業費用	873,167	633,807	7,200	1,514,175	(1,513)	1,512,662
営業利益又は営業損失(△)	101,919	△98,275	7,889	11,534	17	11,552

- (注) 1. 事業区分の方法
事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。
2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
コンテンツ事業	映像、音楽、アニメ、雑誌、書籍、カードゲーム、ウェブ等のコンテンツの企画・制作・編集・デザイン・卸売・小売・配信及び関連するライツ事業
物販事業	玩具、雑誌、関連商品の卸売・小売、マーチャンダイジング化
投資事業(その他事業)	株式の取得、短期投融資案件への投資、投資事業組合の運営管理

3. 事業区分の名称変更

事業区分につきましては、従来「コンテンツ事業」「物販事業」「その他事業」の3つの区分にしておりましたが、「その他事業」の売上高及び営業費用のほとんどが「投資事業」に関連することから、「その他事業」を「投資事業（その他事業）」と名称変更いたしました。

(参考) 前期 (平成19年9月期)

	コンテンツ事業(千円)	物販事業(千円)	その他事業(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,211,580	1,368,048	13,876	2,593,505	—	2,593,505
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	444	447	—	891	(891)	—
計	1,212,024	1,368,495	13,876	2,594,397	(891)	2,593,505
営業費用	1,263,896	1,592,354	3,793	2,860,044	(1,191)	2,858,852
営業利益又は営業損失(△)	△51,872	△223,858	10,082	△265,647	300	△265,347

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
コンテンツ事業	映像、音楽、アニメ、雑誌、書籍、カードゲーム、ウェブ等のコンテンツの企画・制作・編集・デザイン・卸売・小売・配信及び関連するライツ事業
物販事業	玩具、雑誌、関連商品の卸売・小売、マーチャンダイジング化
その他事業	上記に当てはまらない事業

3. 事業区分の再編

事業区分につきましては、前連結会計年度において「コンテンツ制作事業」「コンテンツ流通事業」「メディア事業」「その他事業」の4つの区分にしておりましたが、自社企画を中心としたコンテンツをゼロから生み出せる企業グループとして、コンテンツの製販一体となった企画・開発を行う体制への事業再編を実施したことに伴い、「コンテンツ事業」「物販事業」「その他事業」の3つに再編いたしました。

2. 所在地別セグメント情報

前四半期 (平成19年9月期第3四半期)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当四半期 (平成20年9月期第3四半期)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

(参考) 前期 (平成19年9月期)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

3. 海外売上高

前四半期 (平成19年9月期第3四半期)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当四半期 (平成20年9月期第3四半期)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(参考) 前期 (平成19年9月期)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前四半期 (平成19年9月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年9月期)
1株当たり純資産額 32,787円93銭	1株当たり純資産額 20,331円61銭	1株当たり純資産額 20,928円15銭
1株当たり四半期純 損失金額 220円64銭	1株当たり四半期純 利益金額 789円64銭	1株当たり当期純損 失金額 12,744円71銭
なお、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額については、1株 当たり四半期純損失が計上されてい るため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額については、潜在 株式が存在するものの希薄化効果を 有しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額については、1株当 たり当期純損失が計上されているた め記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期(当期)純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前四半期 (平成19年9月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年9月期)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり当期純 損失金額			
1. 普通株式にかかる四半期純利益又は当期純損 失金額			
(1) 損益計算書上の四半期純利益金額又は四半 期(当期)純損失金額(△)(千円)	△9,045	54,155	△525,337
(2) 普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—	—
差引普通株式にかかる四半期純利益金額又 は四半期(当期)純損失金額(△)(千円)	△9,045	54,155	△525,337
2. 普通株式の期中平均株式数(株)	40,994	68,582	41,220
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金 額			
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期(当期)純利益の算定に含まれなかった 潜在株式の概要	第1回無担保転換社 債型新株予約権付社 債(額面総額5億 円)並びに新株予約 権3種類(新株予約 権の数2,100個)	第1回無担保転換社 債型新株予約権付社 債(額面総額5億 円)並びに新株予約 権3種類(新株予約 権の数1,952個)	第1回無担保転換社 債型新株予約権付社 債(額面総額5億 円)並びに新株予約 権3種類(新株予約 権の数1,952個)

(重要な後発事象)

前四半期 (平成19年9月期第3四半期)

(ブレインナビ・コンテンツファンド投資事業組合の解散)

当社は、前期までの旧体制のもとでブレインナビ・コンテンツファンド投資事業組合を設立し運営を行っていましたが、当社新体制『WEDGE VISION2010』のプランを遂行するうえで、当ファンドの運営意義がなく、企業体質の改善に伴う整理清算業務の一環として解散することといたしました。

(1) 解散の日程

平成19年7月6日 当社取締役会決議

平成19年8月31日 当投資事業組合解散期日 (予定)

(2) 連結業績への影響

当該投資事業組合は、当社グループの連結の範囲に含めておりますが、解散に伴う連結業績への影響は、軽微であります。

当四半期 (平成20年9月期第3四半期)

(子会社の新規設立)

当社は、コンテンツ事業のより一層の拡大を図るため、海外の音楽アーティスト作品を中心に扱う株式会社スピニングを新規設立することを、平成20年7月18日開催の当社取締役会において決議いたしました。

株式会社スピニングの概要は次のとおりです。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| (1) 商号 | 株式会社スピニング |
| (2) 代表者 | 栃木 裕美子 |
| (3) 本店所在地 | 東京都千代田区神田錦町一丁目1番地 |
| (4) 設立年月日 | 平成20年8月1日 |
| (5) 事業の内容 | 音楽ソフト制作、販売 |
| (6) 決算期 | 6月30日 |
| (7) 従業員数 | 1名 |
| (8) 主な事業所 | 東京都台東区東上野四丁目17番7号 |
| (9) 資本金 | 500万円 |
| (10) 発行済株式総数 | 100株 |
| (11) 大株主構成及び所有割合 | 株式会社ウェッジホールディングス (100%) |

(参考) 前期 (平成19年9月期)

(株式会社エンジンによるグループリース社の株式の取得)

当社の完全子会社である株式会社エンジンは、タイ王国に拠点を置くグループリース社に出資することを決定し、発行済株式の24.9%を取得する株式売買契約を締結いたしました。

1. グループリース社の平成19年9月30日現在の概要は次のとおりです。

- | | |
|------------------|--|
| (1) 商号 | Group Lease Public Company Limited |
| (2) 代表者 | Mr. Samart Chiradamrong |
| (3) 本店所在地 | 63 SOI 1, THETSABANNIMITAI ROAD, LADYAO, CHATUCHAK Bangkok |
| (4) 設立年月日 | 1986年5月6日 |
| (5) 事業の内容 | バイクローンの引受 |
| (6) 決算期 | 12月末 |
| (7) 従業員数 | 152名 |
| (8) 資本金 | 225,000,000バーツ |
| (9) 発行済株式総数 | 45,000,000株 |
| (10) 大株主構成及び所有割合 | A.P.F Management Company Limited 37,363,190株 (83.03%) |

(11) 最近事業年度における業績

(単位：千円)

	2005年 12月期	2006年 12月期	2007年 12月期 (中間期)
売上高	1,355,679	1,509,504	813,353
当期利益	280,131	275,357	152,597
純資産	1,453,683	1,544,900	1,697,498
総資産	3,864,553	3,779,848	4,440,570

(単位：百万バーツ)

	2005年 12月期	2006年 12月期	2007年 12月期 (中間期)
売上高	397.56	442.67	238.52
当期利益	82.15	80.75	44.75
純資産	426.30	453.05	497.80
総資産	1,133.30	1,108.46	1,302.22

ご参考：2007年10月24日時点のタイのバンコク銀行における為替レート
1 バーツ：3.41円

2. 株式の取得先

- (1) 株式の取得先 A. P. F. Management Company Limited
(2) 当社との関係 当社大株主の親会社 (A. P. F. グループ) の100%子会社です。

3. 取得株式数、取得価格及び取得前後の所有株式の状況

- (1) 異動前の所有株式数 0株 (所有割合 0%)
(2) 取得株式数 (予定) 11,205,000株 (取得割合 24.9%)
(3) 異動後の所有株式数 (予定) 11,205,000株 (予定取得価格 490百万円)
(4) 取得価格の説明 グループリース社の平成19年6月末の1株当たり純資産額と1株当たり利益を勘案して、平成19年10月23日の終値 (15.2バーツ) を基準とし、12.8バーツといたしました。

(新規投資案件に係る預け金)

連結子会社の株式会社エンジンには、平成19年12月6日に投資事業の新規案件に係る預け金2億5千万円を、投資先が指定する口座に保管しております。

当該投資案件の契約が解除となったことに伴い、平成19年12月14日に返還されております。

6. 第3四半期財務諸表等

(1) 第3四半期貸借対照表

(単位：千円，%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年9月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年9月期 第3四半期末)		増 減		(参考) 前期末 (平成19年9月期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)								
I 流動資産								
1. 現金及び預金	803,736		315,155				1,583,334	
2. 売掛金	99,976		241,899				132,317	
3. たな卸資産	303,298		39,156				36,373	
4. 前渡金	24,085		8,244				—	
5. 前払費用	3,496		3,546				3,611	
6. 関係会社短期貸付金	523,880		1,164,880				522,380	
7. 未収入金	28,876		6,379				72,933	
8. その他	3,350		10,681				15,403	
貸倒引当金	△1,700		△195,850				△136,000	
流動資産合計	1,789,001	83.6	1,594,094	70.2	△194,907	△10.9	2,230,354	96.1
II 固定資産								
1. 有形固定資産								
(1) 建物	5,686		6,035				5,428	
(2) 工具器具備品	1,788		3,039				1,485	
有形固定資産合計	7,474	0.3	9,075	0.4	1,600	21.4	6,913	0.3
2. 無形固定資産								
(1) ソフトウェア	90		335				82	
(2) その他	674		674				674	
無形固定資産合計	764	0.0	1,010	0.0	245	32.1	757	0.0
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	27,800		0				12,800	
(2) 関係会社株式	285,642		145,889				38,889	
(3) 関係会社長期貸付金	—		490,000				—	
(4) 敷金保証金	30,327		30,277				30,277	
(5) その他	—		699				—	
(6) 貸倒引当金	—		△699				—	
投資その他の資産合計	343,770	16.1	666,166	29.4	322,396	93.8	81,966	3.6
固定資産合計	352,010	16.4	676,252	29.8	324,242	92.1	89,637	3.9
資産合計	2,141,012	100.0	2,270,346	100.0	129,334	6.0	2,319,991	100.0

(単位：千円，%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年9月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年9月期 第3四半期末)		増 減		(参考) 前期末 (平成19年9月期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(負債の部)								
I 流動負債								
1. 買掛金	37,024		101,282				31,043	
2. 短期借入金	200,000		—				100,000	
3. 一年内償還予定社債	40,000		100,000				100,000	
4. 未払金	21,236		12,758				21,170	
5. 未払法人税等	4,310		2,913				6,090	
6. 未払消費税等	2,156		7,024				5,740	
7. 預り金	4,565		2,169				5,604	
8. 賞与引当金	1,950		—				—	
9. その他	4,351		7,879				1,723	
流動負債合計	315,593	14.7	234,026	10.3	△81,566	△25.9	271,372	11.7
II 固定負債								
1. 社債	160,000		330,000				380,000	
2. 新株予約権付社債	460,000		460,000				460,000	
固定負債合計	620,000	29.0	790,000	34.8	170,000	27.4	840,000	36.2
負債合計	935,593	43.7	1,024,026	45.1	88,433	9.5	1,111,372	47.9
(純資産の部)								
I 株主資本								
1. 資本金	465,375	21.7	769,140	33.9	303,765	65.3	769,140	33.2
2. 資本剰余金								
(1) 資本準備金	690,836		291,844				994,602	
(2) その他資本剰余金	—		200,000				—	
資本剰余金合計	690,836	32.3	491,844	21.7	△198,992	△28.8	994,602	42.9
3. 利益剰余金								
(1) 利益準備金	306		—				306	
(2) その他利益剰余金	101,267		37,790				△503,063	
利益剰余金合計	101,573	4.7	37,790	1.6	△63,782	△62.8	△502,757	△21.7
4. 自己株式	△52,366	△2.4	△52,456	△2.3	△89	△0.2	△52,366	△2.3
株主資本合計	1,205,418	56.3	1,246,319	54.9	40,901	3.4	1,208,618	52.1
純資産合計	1,205,418	56.3	1,246,319	54.9	40,901	3.4	1,208,618	52.1
負債及び純資産合計	2,141,012	100.0	2,270,346	100.0	129,334	6.0	2,319,991	100.0

(2) 第3四半期損益計算書

(単位：千円，%)

科 目	前年同四半期 (平成19年9月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)		増 減		(参考) 前期 (平成19年9月期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売上高	457,301	100.0	685,828	100.0	228,527	50.0	672,527	100.0
II 売上原価	221,075	48.3	403,619	58.9	182,543	82.6	403,237	60.0
売上総利益	236,225	51.7	282,209	41.1	45,983	19.5	269,289	40.0
III 販売費及び一般管理費	207,064	45.3	203,909	29.7	△3,155	△1.5	264,272	39.3
営業利益	29,161	6.4	78,300	11.4	49,139	168.5	5,017	0.7
IV 営業外収益	30,248	6.6	17,978	2.6	△12,269	△40.6	35,889	5.4
V 営業外費用	5,800	1.3	8,664	1.2	2,863	49.4	15,387	2.3
経常利益	53,608	11.7	87,613	12.8	34,005	63.4	25,518	3.8
VI 特別利益	25,200	5.5	13,499	2.0	△11,700	△46.4	26,700	4.0
VII 特別損失	83,380	18.2	61,289	9.0	△22,091	△26.5	660,903	98.3
税引前四半期純利益又は税引前四半期(当期)純損失(△)	△4,571	△1.0	39,824	5.8	44,396	—	△608,684	△90.5
法人税、住民税及び事業税	2,402	0.5	2,033	0.3	△368	△15.3	2,620	0.4
四半期純利益又は四半期(当期)純損失(△)	△6,973	△1.5	37,790	5.5	44,764	—	△611,305	△90.9

(3) 第3四半期株主資本等変動計算書

前年同四半期 (自 平成18年10月1日 至 平成19年6月30日)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
平成18年9月30日 残高 (千円)	465,375	690,836	690,836	306	108,241	108,547	△52,340	1,212,417	1,212,417
当四半期中の変動額									
四半期純損失					△6,973	△6,973		△6,973	△6,973
自己株式の取得							△25	△25	△25
当四半期中の変動額合計 (千円)	—	—	—	—	△6,973	△6,973	△25	△6,999	△6,999
平成19年6月30日 残高 (千円)	465,375	690,836	690,836	306	101,267	101,573	△52,366	1,205,418	1,205,418

当四半期 (自 平成19年10月1日 至 平成20年6月30日)

	株主資本								純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式		株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
平成19年9月30日 残高 (千円)	769,140	994,602	—	994,602	306	△503,063	△502,757	△52,366	1,208,618	1,208,618
当四半期中の変動額										
資本準備金の額の減少に伴うその他資本剰余金の額の増加		△702,757	702,757	—					—	—
欠損填補に伴うその他資本剰余金の利益剰余金への振替			△502,757	△502,757		502,757	502,757		—	—
欠損填補に伴う利益準備金の取崩					△306	306	—		—	—
四半期純利益						37,790	37,790		37,790	37,790
自己株式の取得								△89	△89	△89
当四半期中の変動額合計 (千円)	—	△702,757	200,000	△502,757	△306	540,854	540,548	△89	37,700	37,700
平成20年6月30日 残高 (千円)	769,140	291,844	200,000	491,844	—	37,790	37,790	△52,456	1,246,319	1,246,319

前事業年度の要約株主資本等変動計算書 (自 平成18年10月1日 至 平成19年9月30日)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
平成18年9月30日 残高 (千円)	465,375	690,836	690,836	306	108,241	108,547	△52,340	1,212,417	1,212,417
事業年度中の変動額									
新株の発行	303,765	303,765	303,765					607,531	607,531
当期純損失					△611,305	△611,305		△611,305	△611,305
自己株式の取得							△25	△25	△25
事業年度中の変動額合計 (千円)	303,765	303,765	303,765	—	△611,305	△611,305	△25	△3,799	△3,799
平成19年9月30日 残高 (千円)	769,140	994,602	994,602	306	△503,063	△502,757	△52,366	1,208,618	1,208,618

（継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況）

<p>前四半期 （平成19年9月期 第3四半期）</p>	<p>当四半期 （平成20年9月期 第3四半期）</p>	<p>（参考）前期 （平成19年9月期）</p>
<p>当社グループは、連結財務諸表において前連結会計年度まで2期連続して当期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローにおいても2期連続してマイナスとなっております。当四半期連結会計期間においては、四半期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローにおいても、マイナス204百万円と引続きマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況に該当します。</p> <p>当社グループは、前期から当期にかけて多額のコンテンツ先行投資を実施いたしました。このコンテンツ投資の回収を確実にを行うために、当社内にライセンス開発事業部を発足させ、ライセンス収益を確保するよう、社内管理体制を整備充実いたしました。</p> <p>又、カードゲームの企画プロデュースを積極的に推進した結果、新規案件の受注及び既発売商品についての新たなライセンス契約締結によるロイヤリティ収入を獲得し、収益拡大を図っております。</p> <p>これらの先行投資の回収を確実にを行うこと及びカードゲームの積極的な受注活動を行うことにより、売上増加、営業利益を増加させ、収益力の向上とキャッシュ・フローの改善を図っております。</p> <p>四半期財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期財務諸表には反映しておりません。</p>	<p>当社グループは、連結財務諸表において前連結会計年度まで3期連続して当期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローにおいても3期連続してマイナスとなっております。当四半期連結会計期間においては、四半期純利益を計上し、営業キャッシュ・フローにおいても、プラスとなりましたが、累積損失を解消するまでには至らず、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況に該当します。</p> <p>当社グループは、多額のコンテンツ先行投資を実施しておりますが、リスク管理強化による回収率を向上させるように社内管理体制を整備充実いたしました。</p> <p>又、カードゲームの企画プロデュースを積極的に推進した結果、新規案件の受注及び既発売商品についての新たなライセンス契約締結によるロイヤリティ収入を獲得し、収益拡大を図っております。</p> <p>さらには株式会社エンジンが新たに投資事業を開始しており、当四半期においては持分法による投資利益が大きく貢献するとともに、受取配当金によるキャッシュ・フローの改善も図っております。</p> <p>これらのコンテンツ先行投資の回収率の向上、カードゲームの積極的な受注活動、投資事業の推進により、売上高・営業利益を増加させ、収益力の向上とキャッシュ・フローの改善を図っております。</p> <p>四半期財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期財務諸表には反映しておりません。</p>	<p>当社は、当事業年度において重要な当期純損失を計上し、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況に該当します。</p> <p>当社グループは、前期から当期にかけて多額のコンテンツ先行投資を実施いたしました。このコンテンツ投資の回収を確実にを行うために、当社内にライセンス開発事業部を発足させ、ライセンス収益を確保するよう、社内管理体制を整備充実いたしました。</p> <p>又、カードゲームの企画プロデュースを積極的に推進した結果、新規案件の受注及び既発売商品についての新たなライセンス契約締結によるロイヤリティ収入を獲得し、収益拡大を図っております。</p> <p>これらの先行投資の回収を確実にを行うこと及びカードゲームの積極的な受注活動を行うことにより、売上増加、営業利益を増加させ、収益力の向上とキャッシュ・フローの改善を図っております。</p> <p>又、平成19年9月28日に6億7百万円の第三者割当を実施したことにより、当面の資金繰りは問題なく、割当先のA.P.F.Holdings Co.,Ltdグループとも中長期的なパートナーシップを構築し、戦略的取り組みを推進していく予定です。</p> <p>財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を財務諸表には反映しておりません。</p>

(重要な後発事象)

前四半期 (平成19年9月期第3四半期)

(ブレインナビ・コンテンツファンド投資事業組合の解散)

当社は、前期までの旧体制のもとでブレインナビ・コンテンツファンド投資事業組合を設立し運営を行っていましたが、当社新体制『WEDGE VISION2010』のプランを遂行するうえで、当ファンドの運営意義がなく、企業体質の改善に伴う整理清算業務の一環として解散することといたしました。

(1) 解散の日程

平成19年7月6日 当社取締役会決議

平成19年8月31日 当投資事業組合解散期日 (予定)

(2) 連結業績への影響

当該投資事業組合は、当社グループの連結の範囲に含めておりますが、解散に伴う連結業績への影響は、軽微であります。

当四半期 (平成20年9月期第3四半期)

(子会社の新規設立)

当社は、コンテンツ事業のより一層の拡大を図るため、海外の音楽アーティスト作品を中心に扱う株式会社スピニングを新規設立することを、平成20年7月18日開催の当社取締役会において決議いたしました。

株式会社スピニングの概要は次のとおりです。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| (1) 商号 | 株式会社スピニング |
| (2) 代表者 | 栃木 裕美子 |
| (3) 本店所在地 | 東京都千代田区神田錦町一丁目1番地 |
| (4) 設立年月日 | 平成20年8月1日 |
| (5) 事業の内容 | 音楽ソフト制作、販売 |
| (6) 決算期 | 6月30日 |
| (7) 従業員数 | 1名 |
| (8) 主な事業所 | 東京都台東区東上野四丁目17番7号 |
| (9) 資本金 | 500万円 |
| (10) 発行済株式総数 | 100株 |
| (11) 大株主構成及び所有割合 | 株式会社ウェッジホールディングス (100%) |

(参考) 前期 (平成19年9月期)

(株式会社エンジンへの貸付け)

平成19年10月25日開催の当社取締役会において、連結子会社の株式会社エンジンに資金の貸付を行うことを決議いたしました。概要は以下のとおりであります。

- | | |
|--------------|---------------------|
| (1) 貸付金額 | 490,000千円 |
| (2) 貸付実行日 | 平成19年10月25日 |
| (3) 利率 | 1.0% |
| (4) 回収期限及び方法 | 平成19年12月28日まで元利一括返済 |

又、平成19年12月6日開催の当社取締役会において、連結子会社の株式会社エンジンに資金の貸付を行うことを決議いたしました。概要は以下のとおりであります。

- | | |
|--------------|------------------------|
| (1) 貸付金額 | 200,000千円 |
| (2) 貸付実行日 | 平成19年12月6日 |
| (3) 利率 | 1.0% |
| (4) 回収期限及び方法 | 平成19年12月17日に返済されております。 |